

会 員 各 位 殿

平成 21 年度通常総会終了報告

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の業務運営につきまして格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成 21 年度の総会も滞りなく無事終了致しましたので、ここに会員の皆様方にご報告申し上げます。

敬具

- 1 . 日 時：平成 21 年 4 月 21 日 午後 3 時 30 分より
- 2 . 場 所：KKR ホテル東京 東京都千代田区大手町 1 - 4 - 1
- 3 . 議 題
 - 第 1 号議案 平成 20 年度事業報告に関する件
 - 第 2 号議案 平成 20 年度収支決算承認に関する件
 - 第 3 号議案 剰余金処分案に関する件
 - 第 4 号議案 平成 21 年度事業計画（案）に関する件
 - 第 5 号議案 平成 21 年度収支予算（案）に関する件
 - 第 6 号議案 役員選任の件
 - 第 7 号議案 日計証連理事の推薦に関する件
 - 第 8 号議案 会長・事務局の交代 その他

4 . 開 会

夏井事務局長が東京都計量証明事業協会（以下略称東計証）平成 21 年度通常総会の開会を宣した。

議事に先立ち、宮下会長から開会の挨拶を行った。要旨は以下のとおり。

本日は、ご多用の中、また足元の悪い中を多数ご出席いただきまして、大変ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。また、日頃から当計量証明事業協会の活動に対しまして、多大なご協力とご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、我国の経済は、昨年夏の金融危機に端を発した国際的な金融収縮により全てがマイナスの方向で大変な経済状況であり、100 年に一度と言われる未曾有の不況に陥っています。当会の会員企業にあっても、昨年の原油価格 100 ドル突破、国際商品相場の乱高下、さらにはメーカーによる強力な在庫調整の動きに伴い、大変厳しい対応を迫られているのが実情ではないかと思う次第です。

このような状況にあつて、昨年は計量証明事業者のコンプライアンスに対する姿勢を問われるような事態が発生致しました。上部団体である日本計量証明事業協会連合会の高度化委員会において、信頼性の確保に向けた検討として取り組んで来ました。具体的な方向性としてはまだ降りてきていませんが、今後とも検討状況を見守り、当会として必要な施策を講じて参りたいと思います。

会員各位におかれましては、改めてコンプライアンスに則った適正計量の実施に強い決意で取り組まれることを切にお願いする次第です。

当証明事業協会への会員の皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

5. 出席状況の報告

事務局長から、総会員数 214 名 出席者数 153 名（内委任状 141 名）よつて会則第 18 条の定数を満たしているのて成立したことを報告した。

6. 議長選出

事務局長が、会則第 17 条の規定により会長が議長となる旨宣し、宮下会長が議長を務めた。

7. 議 事

議長は、議事録署名人に丸山 茂（社団法人日本油料検定協会）中川幸司（財団法人新日本検定協会）を指名し了承を得た。

8. 議事要旨

- (1) 議長は、第 1 号から第 3 号は関連した議案であり、一括説明をする旨議場に諮り了承を得た。
 - ・ 事務局から議案書に基づき一括説明を行った後、島本監事から 4 月 16 日立畠監事と監査を行い諸帳簿等が適正に処理されていた旨の報告があつた。
 - ・ 議長は、以上の議案を個別に諮つたところ、異議無く賛成可決した。
- (2) 議長は、第 4 号と第 5 号は関連した議案であり、一括説明をする旨議場に諮り了承を得た。
 - ・ 事務局から議案書に基づき一括説明を行った。
 - ・ 議長は、議案を個別に諮つたところ異議無く賛成可決、案の抹消が行われた。
- (3) 議長は、第 6 号議案の説明を事務局に求めた。
 - ・ 事務局から、当会の役員が異動等で変更があり、次のとおり改選したい旨提案があつた。

会 長 平 島 和 男（財団法人 日本穀物検定協会）
副会長 完 山 貫 一（株式会社 完山金属）
副会長 夏 井 光 一（社団法人 日本海事検定協会）
理 事 原 田 重 和（社団法人 日本貨物検数協会）
理 事 米 谷 勝（社団法人 全日本検数協会）
顧 問 宮 下 良 雄（社団法人 日本海事検定協会）

また、前役員の副会長稲垣善治（株複合材料研究所）と理事山口雄幸（株やまたけ）の両氏は退任された旨報告があった。（全役員は別紙のとおり）

- ・ 議長は、役員改選について意見等を求めたが、異議無く承認された。

(4) 議長は、第 7 号議案の説明を事務局に求めた。

- ・ 事務局から、東計証の役員の変更に伴い、日計証連の理事等を次のとおり推薦したい旨の提案があった。

会 長 平 島 和 男（財団法人 日本穀物検定協会）
副会長 夏 井 光 一（社団法人 日本海事検定協会）
理 事 完 山 貫 一（株式会社 完山金属）
理 事 中 川 幸 司（財団法人 新日本検定協会）
理 事 井 出 安 男（エンジニアリング・ヒロ株式会社）
理 事 谷 萩 真 一（海外貨物検査株式会社）
理 事 小 森 巧（株式会社 江戸）
理 事 丸 山 茂（社団法人 日本油料検定協会）
顧 問 宮 下 良 雄（社団法人 日本海事検定協会）

- ・ 議長は、日計証連の理事等推薦について意見等を求めたが、異議無く承認された。

(5) 議長は、第 8 号議案の提案説明を事務局に求めた。

- ・ 事務局から、本総会で会長の交代が了承されたが、事務手続き上、日計証連の総会終了後の 6 月 1 日に事務局も併せて交代したい旨説明があった。
- ・ 議長は議場に諮り異議無く了承された。

(6) 平成 21 年度の表彰について

- ・ 事務局から、先に行われた理事会において承認されました優良計量証明事業者の会長表彰を以下の事業者とし、賞状と記念品を贈呈したい旨報告があった。

株式会社 伊藤寅松商店
有限会社 木本商店
有限会社 瀧金属
株式会社 加村商店
日平金属株式会社

(7) その他

- ・ 会長新任の挨拶平島和男：計量証明事業の適正なる実施、会員の皆様のお役に立つ協会となりますよう、微力ながら全力を尽くす所存でございます。事務局共々皆様のご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。
- ・ 会長退任の挨拶宮下良雄：平成 15 年 12 月から前任の爲季会長から引継ぎまして会長職を務めさせて頂きました。この間、皆様のご協力の下でホームページの立上げ、高度化委員会、計量法の改正に伴う意見聴取、アンケート調査等を行って参りました。内容的にも計量証明事業の存在感も高めることが出来たものと思っております。
5 年間の長きに亘り、皆様方の多大なご協力に感謝申し上げます。

(8) 以上を持って全議案の審議が終了したので議長は退席した。

(9) 閉 会

以上